

平成 22 年 4 月 22 日

京情協 地域情報化委員会 (22 年度 第 1 回) 議事録

開催日時: 平成 22 年 4 月 20 日 (火) 17:00 ~ 18:30

開催場所: 京都コンピュータ学院駅前校 新刊 4F

参加者: 藤関、相原、福本、木村 (オブザーバー)、吉川、桧山、中川、桂田 (順不同、敬称略)

配布資料: 地域情報化委員会 (第 1 回) 議題、添付資料 ~

議事:

---

**【 22 年度事業計画の確認、担当決定】** 添付資料、

---

- ・ 22 年度事業計画について、委員長から以下の通り説明がなされた。
- ・ また、あわせて各事業計画の今期の担当を確認した。詳細は添付資料を参照。

**1. 府民に対する情報関連技術の啓発・普及事業****1-1. 新春セミナーの開催 (担当: 全員)**

- ・ 新春に相応しいテーマで、オープンセミナーを開催。今期は 2011/1/18 に実施。
- ・ 実施は来年だが、JISA への補助金申請の関係上、8、9 月頃にはテーマ・講師などを決定しておく必要がある。8 月の委員会では、テーマ・講師などを決定したい。

**次回の 6 月委員会までに各委員で検討する事項**

- ・ 次回の 6 月の委員会までに各自でテーマ・講師などの案を検討して頂きたい旨、委員長より依頼がなされた。

**2. 府内地域産業の情報化促進事業****2-1. 官 (行政、行政関連団体) との連携****【2-1-1. 地域イノベーションパートナーシップ (担当: ---)】**

- ・ 経済産業省が推進する地域イノベーションパートナーシップ構想の実現に向け、前期から当協会は京都地域のドライバーとなり協力を行った。当委員会は当協会の窓口として ASTEM や KIIS 等との情報交換や、その他事務的な活動を行った。
- ・ 今期は実施要領がまだ不明確のため、現時点では動きようがない。構想自身がなくなることはないだろうが、事業縮小するのではないかとの見方もある。
- ・ 当活動については実施要領が明確になった時点で、担当も含め検討することを確認した。

**【2-1-2. IT コンソーシアム京都の部会活動 (担当: 下記参照)】**

- ・ 今期も継続して、IT コンソーシアム京都の部会活動に委員代表者が出席し、その概要を議事録で広報する。前期は医療情報化部会のみが活動し、担当の相原氏に出席して頂いた。
- ・ 今期の担当は前期と同様、以下の通りとなる旨、確認した。
  - ・ ネットワーク部会 (担当: 福本氏)
  - ・ 医療情報化部会 (担当: 相原氏)
  - ・ 地上デジタル放送部会 (担当: 中川)
  - ・ 情報セキュリティ部会 (担当: 桧山氏)

### 【2-1-3.行政関連団体との連携（担当：未定）】

- ・財）京都産業21、京都試作センター(株)などの連携の可能性を探っていきたい。その一つの可能性として、古川氏から先日、京都府の施策である「<sup>さとちから</sup>里力再生アクションプラン」(添付資料)に関する情報が委員長に伝えられた。

#### 「<sup>さとちから</sup>里力再生アクションプラン」

- ・「<sup>さとちから</sup>里力再生アクションプラン」は、農山村地域における地域人材不足、鳥獣害被害、農林漁業の衰退、情報・防災の整備などの課題解決の検討・施策策定を通し、京都府内50地域を目標に、農村地域の再生モデルを育成することを目的としている。
- ・古川氏が京都府の担当者にヒアリングされたところ、特に鳥獣害被害は深刻化しており、ITの視点で何らかの解決策を提案してもらえないかとの事であった。また、情報・防災の整備については、当協会として何らかの連携の可能性があるのでないかとの事であった。
- ・当委員会としては、連携の可能性を探っていきたい。
- ・具体的にどういった連携が可能かは、担当者から話を聞いてから検討することとする。結果的に当アクションプランでの連携が難しい場合でも、当件が今後の連携・ビジネスの手掛かりになればと良いと考えている。
- ・当アクションプランの実行は京都産業21が担っているため、出来れば6月委員会に京都産業21の担当者に来て頂き、説明をお願いしたいと考えている。担当者に来て頂く場合、少人数では失礼に当たるため、KCAと連携しKCA会員企業にも参加してもらいたいと考えている。
- ・担当については、説明を聞いた上で検討するため、現時点では未定とすることを確認した。

### 3.全国情報関連諸団体との連携事業

#### 3-1.他府県の情報産業団体との連携

- ・前期に、約60団体の活動内容を調査した。
- ・来期の事業計画に取り込める活動がないか、調査結果を参考にし、今期探っていきたい。

### 4.その他本協会の目的を達成するために必要な事業

#### 4-1.採用支援セミナーの開催（担当：桧山氏）

- ・3年前からスタートしたセミナーだが、ここにきて集客力が落ちてきている。
- ・従来は新卒採用に関するテーマであったが、新卒採用に限定せず、中途採用や人材育成をテーマにした内容でもよしと考える。「人材確保・定着・育成」という大きなテーマで訴求力のあるテーマを探っていきたい。

#### テーマの候補として挙げた案

- ・新人に限らず、中堅社員向けのビジネスマナー研修。(相原氏)
- ・面接の実践的な手法(深掘面接や、コンピテンシー面接など)(桂田)

#### 次回の6月委員会までに各委員で検討する事項

- ・より魅力あるテーマを探るため、次回の6月の委員会までに各自で案を再検討して頂きたい旨、委員長より依頼がなされた。

#### 4-2.採用情報の発信（担当：桂田）

- ・今期も継続して「採用耳より情報」を発信していく。
- ・採用情報だけに限らず、「人材確保・定着・育成」をテーマに年3、4回発信していきたい。

### 5.その他（上記以外の活動）

#### 5-1.大学との連携（担当：福本氏）

- ・団体レベルで対リエゾンオフィスとどんな連携が可能か、今後どうすべきかを今期に検討する。
- ・参考情報として、前期に訪問した立命館大学リサーチオフィスの松田氏（産学官連携コーディネーター）は、補助金が直接大学に支給されるようになった関係上、バンテック殿を退職し、大学に直接雇用されることになった旨、相原氏から説明がなされた。

### 6.今期の予算案

- ・今期も前期同様、47万円の予算案となっている。
- ・前期は他府県情報産業団体との連携予算（10万円）が余った。今期は有効に使えるならば活用したい。

---

#### 【 :その他】

---

#### 1.IT コンソーシアム京都 医療情報化部会（第3回）の報告（添付資料 ）

- ・相原氏より、以下の報告がなされた。

##### ポケットカルテの機能強化

- ・電子カルテを活用した健康管理情報サービス「ポケットカルテ」に新機能（デジタル領収書、ヘルスケア家計簿）が追加された。
- ・デジタル領収書は、医療領収書にある2次元バーコードを携帯 PHS で読み込み、その履歴と金額を保存していく機能。
- ・ヘルスケア家計簿は、ドラッグストア・コンビニ等のレシート上の2次元バーコードを携帯 PHS で読み込み、医療費と認められる費用（薬、マスク、大人のおむつ等）の履歴と金額を保存していく機能。骨折等により病院からタクシーを利用して帰宅した場合も、GPS 機能などを利用し医療費として認識される機能が用意されているとのこと。

##### 共通診察券プロジェクト

- ・H22 年度事業としてあらたに、京都市内の病院について、共通の診察券を利用出来る仕組み作りを検討し、その参加企業を募るとのことであった。

#### 2.今期の委員会開催スケジュール（添付資料 ）

・ 今期の当委員会の開催スケジュールを確認した。

- ・ 第1回： 2010/4/20（火）
- ・ 第2回： 2010/6/15（火）
- ・ 第3回： 2010/8/17（火）
- ・ 第4回： 2010/10/19（火）
- ・ 第5回： 2010/12/21（火）
- ・ 第6回： 2011/2/15（火）
- ・ 第7回： 2011/3/15（火）

以上